

研修会報告

令和 7 年 9 月 22 日

文 責： 浅野陽子

研修会テーマ「輸血検査-この反応どうやって解決する？-」

開催日時 令和 7 年 9 月 17 日（水） 17：30 ～19：00

会 場 Zoom ウェビナーを用いた Web 開催

司 会 浅野陽子

生涯教育点数 専門教科 20 点

参加者 会員参加者 25 名 入会申請中会員 0 名 非会員 1 名 賛助会員 0 名 学生 0 名
合計 26 名

講演 1

【令和 6 年度宮城県臨床検査技師会精度管理調査報告と県内の輸血検査の状況】

講師：東北大学病院 輸血・細胞治療部 伊藤智啓技師

講演 2

【安全な輸血業務を目指して-予期せぬ反応の原因とその対応-】

講師：株式会社カイノス 学術部 丸橋隆行先生

19:00 終了

内容

今回の輸血検査部門研修会はテーマ「輸血検査-この反応どうやって解決する？-」で開催した。

講演 1 では【令和 6 年度宮城県臨床検査技師会精度管理調査報告と県内の輸血検査の状況】というタイトルで東北大学病院 輸血・細胞治療部 伊藤智啓技師が講演された。令和 6 年度の精度管理調査について県内の輸血検査の現状を交えて解説していただいた。Rh コントロールの重要性について解説されており、今後控えている令和 7 年度の精度管理調査においても本講演を生かしてほしいという内容であった。

講演 2 では【安全な輸血業務を目指して-予期せぬ反応の原因とその対応-】というタイトルで株式会社カイノス 学術部 丸橋隆行先生が講演された。ヒューマンエラー対策と血液型検査の予期せぬ反応の考え方について講演していただいた。最も効果的なチェック方法は指差しと喚呼が有用だということだった。また、血液型が確定できない場合の考え方を ABO 亜型鑑別フローチャートにそってパターン毎に解説していただいた。得られた情報を客観的に評価し、論理的に結論を導き出すことが重要だということが理解できた。

今後も宮城県臨床検査技師会員のために多くのことを学べる研修会を開催し、知識をアップデートする場を提供したい。